

# 文教委員会資料⑤

## 1 令和5年第5回定例会提出予定議案の説明

### (5) 議案第193号 川崎市黒川青少年野外活動センターの指定管理者の指定 について

資料 川崎市黒川青少年野外活動センターの指定管理者の指定についての参考資料

こども未来局

(令和5年11月22日)

議案第193号参考資料

1 管理を行わせる公の施設の概要

(1) 名称	川崎市黒川青少年野外活動センター
(2) 所在地	川崎市麻生区黒川313番地9
(3) 設置条例	川崎市黒川青少年野外活動センター条例
(4) 設置目的	野外活動による体験を通して、青少年の自主性及び協調性をはぐくみ、もってその心身の健やかな発達に寄与する。
(5) 施設の事業内容	野外活動に必要な指導及び助言、野外活動の振興及び普及を図るための各種講座の開催、市内の青少年教育指導者の育成、施設及び設備の利用に供すること、市内の学校その他教育機関等との連絡及び協力
(6) 現在の管理者	特定非営利活動法人国際自然大学校
(7) 現在の管理運営費	30,399千円（令和元～5年度の指定管理料平均額）

2 指定管理者となる団体の概要

名 称	特定非営利活動法人国際自然大学校										
所 在 地	東京都狛江市岩戸北4丁目17番11号										
代 表 者 名	理事長 佐藤 初雄										
設 立 年 月	平成12年7月3日										
資 産 総 額	2,802万3,271円										
職 員 数	131名										
設 立 目 的	大人から子供まで幅広い年齢層を対象とした、国内及び国外における自然体験活動、野外教育、環境教育、冒険教育、国際教育（以下「自然体験活動等」という。）などの広く自然の中での体験教育活動に関する旅行業、専門的な指導者の育成、情報の提供、調査研究、プログラムの開発、政策提言、施設の管理運営を通して自然体験活動等の普及及び振興に寄与することを目的とする。										
事 業 実 績	(1) 川崎市黒川青少年野外活動センター（指定管理者） (2) 埼玉県立名栗げんきプラザ（指定管理者） (3) 神奈川県立愛川ふれあいの村（指定管理者） (4) 埼玉県立神川げんきプラザ（事業運営委託） (5) 葛飾区立日光林間学園（指定管理者） (6) 厚木市七沢自然ふれあいセンター（事業運営委託） (7) 大田区立伊豆高原学園（PFI事業運営） (8) 千葉県立水郷小見川少年自然の家（指定管理者） (9) 明石市立少年自然の家（指定管理者） (10) 板橋区立八ヶ岳荘（指定管理者） (11) 川崎市王禅寺四ツ田緑地（事業運営委託） (12) Nature Factory 東京町田（指定管理者）										
決 算 (令和4年度)	<table> <tr> <td>総収入</td> <td>640,197千円</td> </tr> <tr> <td>総支出</td> <td>638,209千円</td> </tr> <tr> <td>当期活動収支差額</td> <td>1,988千円……………①</td> </tr> <tr> <td>前年度繰越金</td> <td>26,035千円……………②</td> </tr> <tr> <td>次年度繰越金（①+②）</td> <td>28,023千円</td> </tr> </table>	総収入	640,197千円	総支出	638,209千円	当期活動収支差額	1,988千円……………①	前年度繰越金	26,035千円……………②	次年度繰越金（①+②）	28,023千円
総収入	640,197千円										
総支出	638,209千円										
当期活動収支差額	1,988千円……………①										
前年度繰越金	26,035千円……………②										
次年度繰越金（①+②）	28,023千円										

### 3 指定期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

### 4 選定結果

別紙のとおり

### 5 事業計画（主な提案内容）

- (1) 幼児や保護者を対象とした「森のようちえん」、小学生等の親子を対象とした「親子アウトドア教室」、通年型の自然体験活動である「黒川冒険クラブ」など、小さい子どもから高齢者までの交流拠点となるための、多様な野外体験活動事業の展開
- (2) 施設内の間伐材を活用した薪ストーブの暖房によるSDGSへの取組
- (3) 従来の指導者養成研修メニューに加え、子どもたちから施設に関りをもってもらうことを通じて将来の指導者を育成するという視点で実施する、中学生以上と対象としたボランティア育成プログラム「黒川キャンプカウンセラー」の取組
- (4) 黒川の自然体験について、敷地内の未活用スペースを用いて新たに実施するビオトープ作りといった自然に寄り添った取組

### 6 収支計画

(単位：千円)

項目	金額（消費税及び地方消費税を含む。）					
	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	合計
収入	41,295	41,545	41,795	42,045	42,295	208,975
指定管理料	34,295	34,295	34,295	34,295	34,295	171,475
その他の収入	7,000	7,250	7,500	7,750	8,000	37,500
支出	41,295	41,545	41,795	42,045	42,295	208,975

## 黒川青少年野外活動センターの指定管理予定者の選定結果について

## 1 応募状況

説明会参加：2団体

応募団体：1団体（特定非営利活動法人国際自然大学校）

## 2 指定管理者選定評価委員会委員

岡田 守弘（横浜国立大学名誉教授/東京医療学院大学教授）

新井 努（新井公認会計士事務所（公認会計士））

柴田 彩千子（東京学芸大学准教授）

塚田 庸子（元川崎市立小学校長/神奈川 CST 協会会長）

## 3 選定理由

仕様書に沿った提案がなされるとともに、提案金額やそれに伴う収支計画・人員配置も妥当であった。また、黒川青少年野外活動センターの運営に対する考え方や、青少年野外活動体験の振興及び普及、青少年教育指導者の育成、黒川の自然体験に係る主催事業について優れた提案がなされ、また、同種事業の運営実績を有し、継続的な施設運営が見込まれることを評価し、当該団体を選定した。

## 4 審査結果（※基準点273.6点以上）

選定基準	配点	指定管理 予定者
1 事業目的の達成とサービスの向上への取組	192 点	145 点
2 事業経営計画と管理経費縮減等への取組	120 点	74 点
3 事業の安定性・継続性の確保への取組	64 点	41 点
4 応募団体自身についての評価	64 点	45 点
5 応募団体の取組	16 点	16 点
実績評価点（標準を0点として、加減点）		11.4 点
合 計	456 点	332.4 点

## 5 提案額

171,475千円（5年間の合計額）